

発言No. 1

受付No. 19

令和3年6月10日

10時38分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 1 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 企業版ふるさと納税について

加速化する人口減少が自治体の税収減をもたらしている。歳入の確保に努める必要がある中、ふるさと納税はその一つであり、先駆的に取り組んだ浜田市では大きな成果をもたらしている一方、自治体間における寄附獲得競争は年々過熱化しており、本市における寄附額も減少傾向にある。

そのような中、有効な歳入確保の手段として、H28年度に創設された企業版ふるさと納税制度に着目し、その制度活用に対する考え方等について以下質問する。

①企業版ふるさと納税制度をどのように捉えているか。

②浜田市における取組状況はどのようなものか。当該事業内容やその成立経緯等について。

③寄附獲得に向けた今後の戦略はどのようなものか。

発言No. 2

受付No. 1

令和 3年 6月 2日
8時 30分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 21番 氏名 澁谷幹雄

答弁を求める者 市長 教育長
発言項目及び要旨

1 今後の人口減少を見据えた浜田市の組織のスリム化について

浜田市においては、人口減少を見据えた組織のスリム化がたいへん遅れているように思うが、その点はどのような認識なのか、またこれからどのようにする考えなのか、尋ねる。

2 浜田港浜田漁港の機能の充実について

浜田港と浜田漁港のさらなる機能充実が必要に思うが、何をどのように充実させる考えなのか、尋ねる。

3 女性モニター制度の創設について

浜田市の「消滅」を回避するためには、女性が住みやすい、女性の笑顔があふれるまちづくりを進めなければ、と思う。それには、女性モニター制度を開設して、まず、女性の声を聞くことから始めるべきではないかと思うが、所見を尋ねる。

4 健康寿命日本一への挑戦について

超高齢化社会を迎えている浜田市は、元気で長生き、「健康寿命日本一宣言」をして、健康寿命の延伸に取り組むべきではないかと思うが、考えを尋ねる。

5 市内の県立高等学校への支援について

多くの自治体が地元の県立高校への支援を強化しているが、浜田市の動きは鈍いのではないかと？ どう取り組む考えなのか、尋ねる。

以上

令和 3年 6月 10日

8時 52分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 飛 野 弘 二

答弁を求める者

(○をつける)

 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 元気な中山間地域振興の仕組みづくり「パートⅢ」について

少子高齢化、過疎化に歯止めがかからない中、本来ならコミュニティが得意で取柄な地域だけに今回のコロナ禍で3密を避けるため、祭りをはじめ集落行事・イベントなどの自粛で一番大事な意志の疎通手段を分断された。今こそ、元気な中山間地域振興の仕組みづくりに挑戦する待ったなしの状況と受け止めている。仕組みをつくることにより、引き続きこの素晴らしい中山間地域に今後も安心して住み続けることができるようにしなければならない。仕組みづくりの主役は、その地域に暮らし、今日まで豊かな自然を守り、伝統文化を継承し、そして、次の世代にこれを引き継いでいこうとする住民の皆さん一人一人である。そして行政はこの活動に参画し、仕組みづくりを積極的に進めていく必要がある。

(1) 「新型コロナ」撃退「鍾馗の疫神ポロシャツ」の作製と着用で意識醸成と取組のアピール活動について

「コロナ」よ鎮まれ！世界の人々が叫び願っているがまだまだ時間がかかると思われる。ワクチン接種が始まっているが出口はなかなか見えてこない。そこでの着慣れた、開府400年ポロシャツが懐かしくなってきた。コロナ対策事業の一環として、官民一体となって早期終息を願う浜田市を県内外に示す活動を提案するが所見を伺う。

(2) UI ターン移住者対策について

中山間地域の一次産業の担い手不足対策は、もはや待った無しの状況で、目先を乗り切るためにも、この移住対策しか見当たらない。島根県への移住者は3642人と4年ぶりに増加した、と報道があった。コロナ禍の現象で首都圏からの移住者が多い。20・30歳代の若者の田園回帰も少なくない。

- ① 浜田市のUI ターン移住者の近年の推移を伺う。
- ② 自治体間競争にますます拍車がかかると思うが浜田市としての戦略を伺う。
- ③ 浜田市のホームページ「はまだ暮らし」の更新に当たり公募への応募状況と進捗状況を伺う。

(3) 高速情報通信基盤整備について

- ① 事業の進捗状況を伺う。
- ② 三隅地域において令和3年2月からチャンネル統合され、それに伴う各戸のチャンネル設定が必要となったがスムーズにできたのか伺う。
- ③ 三隅地域において天気情報が以前と比べ不人気と聞くが感知しているのか伺う。
- ④ 三隅地域において光化に伴いIP電話の代替の検討状況を伺う。

(4) NHK 第1放送 (FM 波 81.7MHz) ラジオ中継局開局について

- ① この4月から大麻山に開局し浜田市を補完するとまちづくりセンターにポスターが掲示されていた。災害情報の媒体として心強いが、浜田市と災害時の協調や連携ができるのか伺う。
- ② 浜田市を補完するとあるが、FM波だけに山間地では感度が悪い地域が多々ある。放送出力を増やすなど難聴対策の協議があったのか伺う。

発言No.

4

受付No.

5

令和 3 年 6 月 9 日
14 時 34 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 24 番

氏名牛尾昭

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 市長の市政に対する姿勢について

①三月議会では、出馬表明がなかったが、二期8年目が残り僅かとなるこの時期に、当初の目標達成のために、3期目への豊富を市民に向けて語られるべきでは。②コロナ禍の中、水産業全般、神楽産業全体、中小企業に対する支援策を次々と打たれたが、今後の追加支援策を問う。

③先般、会議所から、駅前の岩多屋閉店後の跡地利用について、要望活動がなされたが、対応について、市長の姿勢を問う。

④来月からワクチン集団接種が始まるが、64歳未満については、どの様にされようとしているのか市長の姿勢を問う。

⑤浜田お魚市場の仲卸しブースが先行オープンした。旧お魚センターを買い取り、リニューアルして仲卸業者に移転してもらった。市長の肝いり事業であるが、問題点はある。市長の受け止め方を問う。

⑥地元巻き網漁船の二ヶ統のうち一ヶ統に事故があり、現在、休漁中である。底引き網漁が休漁期のために、お魚市場に並ぶ原魚が確保出来ない場合もある。間もなく施設はグラウンドオープンするが、市長の見解を問う。⑦水産庁の有識者検討会が骨子案を公表した。

「多目的船舶」という、一つの資源に頼らず収入源を多角化する新たな操業形態への転換促進を柱に据えた。簡単にいうと、底引き網をしながらイカ釣りを行うという、異なる漁業を一隻で行えというものだ。つまり、底曳きの休漁期にイカ釣りをを行うなど、なるべく休漁期を短く出来るし、同時に水揚げ高が上がる。新規事業であり、市長を先頭に取組むべき課題と思うが見解を問う。

2. 教育課題について

(1)総務文教委員会^の提言^{について}

幼稚園の新園建設については、前倒しの検討を提案したが、市長並びに教育長の見解を

問う。

(2) 四中統合について

① 地域でなぜ、弥栄中学問題を巻き込んで、議論しないのかという、根本的問題がある。自治区制度が発展的に解消された現在、数百億かけた浜田美都線が弥栄まで整備された状況からして、そちらを先に検討すべきと思うが問う。

② 5月24日の地元説明会では、3中を統合先としての議論であった。前回までは、2中の希望も多かったが欠落していた。指摘しておく。4中のPTA会長は、保護者が心配して、事前に美川小学校から周布小学校や長浜小学校へ転校して美川小学校の児童が減少するのではないかという意見があった。その他の方からも、将来展望が見えず、子供達に不安が広がっているとの指摘があった。当局は、もう少し、地域の声に沿った、実現可能な、様々なシュミレーションを示すべきと思うが見解を問う。

5
発言No.

受付No. 13

令和3年6月10日

9時52分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 13 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 地域協議会との意見交換会について

これまで、各自治区へ出かけての議会報告会や井戸端会等で貴重なご意見を拝聴し、市政に反映しようという試みを議会としてやってきましたが、この1, 2年コロナ禍で皆さんにお集まりいただくことが厳しい中での取り組みとして広報広聴委員会の提案で、各地域で地域課題に最前線で取り組んでいる地域協議会の皆様と意見交換を先日実施してきました。私は三隅地域協議会の意見交換会に出席し、私自身地域課題の理解や、議会としての取組を委員の方達にいくらか理解していただいたように思います。

① 議会との意見交換会が終了した地域協議会（金城、三隅、浜田）には本庁や支所の担当課も出席しておられましたが、地域協議会から出た意見や諸課題に対して、どう思われたのか所見を伺います。

② 浜田市協働のまちづくり推進条例、第五章・第10条に地域の課題や問題を取り上げ、より良いまちづくりを推進するため、市長の付属機関として地域ごとに地域協議会を置くことにしている。これまで以上に住民が主体となって、暮らしやすい地域社会を実現できるようにするには、自治区制度があった時を踏襲するのではなく、広いエリアで暮らしの条件が違う浜田地域には、最低4以上の複数地域協議会が必要だと思うが所見を伺います。

2 浜田市協働のまちづくり推進条例の施行後について

① 協働のまちづくり推進条例が4月から施行されたが、今までの公民館とまちづくりセンターは何処がどう違うのか？コーディネーターという職ができたがどのような形で勤務され、実際コーディネーターは何をして勤務されているのかよく分からないと、市民の声を聞きます。新年度になって2ヶ月以上経っても私たちの町内には未だアクションがない。相談しなければ話を聞いてもらえないのか、自治区制度に替わる「まちづくり元年」としてはスピード感がないように思えるが、どうまちづくりを一緒になってやるのか伺います。

② 市は協働のまちづくりを推進するため、市の職員は協働のまちづくりを理解し、自らも地域社会の一員として、積極的にまちづくりに参画するよう努めるとしているが、どれほどまちづくりに参画しているのか、研修等も実施し、その育成を図るものとする明記されているが、実施計画を伺います。

③ 地域づくり振興事業補助金交付において、補助対象者及び補助対象事業の中で、新たに増額、追加された事業の申請状況はどうか伺います。

④ 昨年12月に示された中期財政計画の主要事業で、事業年度令和4～5年度、長沢公民館整備事業が計画されているが、場所や事業費など計画通りに進んでいるのか伺います。

3 任期満了に伴う浜田市長選について

① 3月定例会議、会派未来の代表質問で任期満了に伴う秋の市長選に出馬されるのか、お伺いしたところ、市長は「今は新型コロナ対策が最優先」として出馬表明されなかった。依然コロナ禍であるがワクチン接種も始まり、全てに希望が少しは見えた所です。市長が掲げる「元気な浜田」を目指して3期目出馬されるのか伺います。

発言No.

6

受付No.

7

令和3年 6月10日

8時 57分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 経済の地域内循環の考え方について

- ① 浜田市では、BUY 浜田運動や地産地消の積極的取組など、経済の地域内循環を推進してきた。数年に一度はその効果を検証することも必要だと考えるが、市としての検証方法と、今後の取組について問う。
- ② 子育て世代包括支援センターについて、令和4年4月の供用開始の予定であるが、この建設工事費について、総額の内、市内に残る予算と市外に出る予算の割合について概算で問う。

2 中山間地域振興枠の考え方について

- ① 自治区制度廃止後の地域振興基金に代わる予算枠の一つとして「まちづくり振興基金」があり、その中から5年間で10億円という「中山間地域振興枠」が設けられている。6年目以降の「中山間地域振興枠」の考え方について問う。

3 まちづくりコーディネーターの役割について

- ① 「浜田市協働のまちづくり推進条例」に基づく新たな住民主体のまちづくりを推進するため、公民館がまちづくりセンターに移行した。配置されたまちづくりコーディネーターの役割と権限について改めて問う。

4 元気な浜田づくりの総括について

- ① ～住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田～ のキャッチフレーズがよく目に映ります。久保田市長がこれまで8年近く力を注がれた「元気な浜田づくり」について元気になった点、そうでなかった点についてご自身の評価を問う。

